

令和7年4月22日発行（第195号）

こ う じ え ん

普及センターだより

耕耳苑

いわてアグリ
ベンチャーネット
にも掲載中！

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220 FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115 FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



着任のご挨拶

宮古農業改良普及センター 所長 安達 雅則

やわらかな春風が心地よい季節となり、今年も本格的に春の農作業が始まっています。皆様には、この一年事故なく、安全第一で農作業を進められ、また、穏やかな天候に恵まれることをお祈り申し上げます。

さて、私こと、この4月の人事異動で前任地の岩手県庁農林水産部農業振興課より着任しました。入庁して広域振興局等の行政部署への勤務が長く、普及センター勤務は24年ぶりとなります。また、初めての宮古勤務となりましたので、宮古地域の農業の状況等を把握し、この地域の農業振興に尽力していきたいと考えております。

近年の農業を取り巻く環境は、生産者の減少・高齢化等の課題、また、飼料、肥料、燃油等の農業生産資材の国際価格の高騰による農業経営への影響、さらに気象変動による農業生産の不安定化など、厳しい状況となっており、宮古地域においても同様の状況に置かれています。

普及センターでは、これら直面している課題の解決に向けて、関係機関、生産者の皆さんと連携しながら対応し、そして、宮古地域の農業がさらに魅力ある産業となり、次世代に引き継がれるよう取組んで参ります。

今年度の普及センターの体制は、宮古普及センター12名、岩泉サブセンター6名の計18名で活動してまいります。宮古地域の農業をもっと元気にするため職員一丸となって取組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度転入者、新採用職員の紹介

氏名 あだち まさのり
安達 雅則

役職 **所長（宮古）**

前所属 県庁農業振興課 技術主幹兼農地・交流担当課長

出身地 大船渡市

趣味 家庭菜園、ワカサギ釣り（2年ほど休止中）

抱負 宮古は初めての勤務地となります。早く地域のこと、生産者や関係機関の皆さんの顔を覚え、業務に取り組んでいく所存ですので、よろしくお願いします。



氏名 ただ のりお
多田 典穂

役職 **地域指導課長（宮古）**

前所属 県南広域振興局農政部 一関農村整備センター 主任主査

出身地 遠野市

趣味 りんご栽培（手伝い）、ツーリング

抱負 平成 5～8 年度に当時の岩泉普及センターにおり、果樹の担当をしておりました。30 年ぶりの赴任となりますが、またよろしくお願いします。



氏名 かわらだ なおき
川原田 直輝

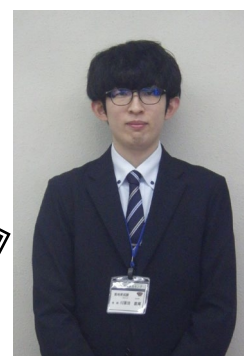
役職 **技師（宮古）**

前所属 県庁農業振興課 技師

出身地 秋田県横手市

趣味 料理、卓球

抱負 初の普及センター、初の沿岸生活と慣れないことだらけですが、少しでもお役に立てるよう、地域についての理解を深めて参りたいと思います。



氏名 さわだ あおい
澤田 葵

役職 **農業普及員（宮古）**

前所属 新採用

出身地 北海道

趣味 野球観戦、スキー

抱負 宮古地域の農業に貢献できるよう、宮古の美味しいものをたくさん食べて元気に頑張ります！



令和7年度 宮古農業改良普及センター 活動体制

所長 安達 雅則

産地育成課

技術主幹兼産地育成課長 島 輝夫

課員（6名）

上席農業普及員	松浦 拓也	（総括・野菜）
上席農業普及員	西田 清	（畜産）
技師	佐々木 絢菜	（果樹）
技師	川原田 直輝	（作物）
技師	戸田 諒	（作物）
技師	熊谷 瑚斗子	（花き・野菜）

地域指導課

地域指導課長 多田 典穂

課員（3名）

上席農業普及員	山本 研	（総括・地域課題解決）
主任農業普及員	佐藤 知己	（6次産業化）
農業普及員	澤田 葵	（新規就農者・担い手育成）

岩泉普及サブセンター

技術主幹兼所長 及川 修

所員（5名）

《園芸振興チーム》

上席農業普及員	細川 健	（総括・野菜）
主任農業普及員	富永 朋之	（地域特産物）
農業普及員	昆野 有芽	（新規就農者・担い手育成・花き）

《畜産振興チーム》

上席農業普及員	昆野 善孝	（総括・畜産・経営）
主査農業普及員	澤田 建	（畜産）

※ 氏名横のカッコ内は主な担当（作目）

転出者の紹介

公所	氏名	転出先
宮古	荻内 謙吾（所長）	盛岡農業改良普及センター（所長）
	川戸 善徳（技術主幹兼地域指導課長）	八幡平農業改良普及センター（技術主幹兼産地育成課長）
	名久井 一樹（上席農業普及員）	大船渡農業改良普及センター（上席農業普及員）
	小野 直毅（農業普及員）	岩手県農業研究センター（専門研究員）
	佐々木 花純（農業普及員）	農業普及技術課（技師）

春の農作業安全月間が始まりました

「忘れずに！点検・確認・安全管理 無事故で終える収穫作業」

4月15日から6月15日は、春の農作業安全月間です。

春は、耕起・代かきや田植えなど農業機械による作業が多くなることから、例年、この時期に農作業事故が多く発生しています。令和6年は、岩手県内で8件の農作業死亡事故が発生しました。安全に農作業を進めるために、特に下記の事項に気を付けて、今一度、心に余裕を持つことを意識して作業を進めましょう。

- 安全フレームの装着、シートベルトの着用など、万が一事故が起こった時の対策をする
- 農業機械は、定期的に点検を行う（エンジンを切って確認しましょう）
- 農作業前に、作業の内容や場所、作業が終わる時間を家族と共有する

【担当：戸田】

山火事警戒宣言発令中です

令和6年は、岩手県で33件、宮古管内で3件（宮古市2件、山田町1件）の林野火災が発生し、4月に発生した宮古市刈屋地区の事例は、186haを焼損する大規模火災となりました。

さらに、令和7年は2月下旬に岩手県沿岸部で林野火災が相次いで発生し、2月26日に発生した「大船渡市山林火災」は、延焼範囲が約3,370haにのぼる、平成以降日本最大規模の火災となりました。

県では2月27日から5月31日までの期間、「山火事警戒宣言」を発令しています。特に重要となる山火事防止3原則は、「①強風、乾燥時は野外で火を使わない」「②森林の近くでたき火、野焼きをしない」「③たばこの吸殻は投げ捨てない」の3つです。大切な森林を守るために、火の取り扱いと後始末には十分注意していただくよう、ご協力をお願いいたします。

【担当：戸田】

農薬は適正に使用しましょう

本格的な農作業のシーズンが始まります。作物の栽培にあたっては、農薬の適正使用の徹底に努めましょう。

- 1 農薬のラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認した上で使用するとともに、農薬の使用記録を残す。
- 2 「非結球あぶらな科葉菜類」等、作物群で登録のある薬剤を使用する場合、適用作物が限られるので、適用作物の誤認がないように注意する。
- 3 農薬の散布器具、収穫容器、農作業用具等の洗浄不足がないか点検する。
- 4 農薬の飛散や、前作で使用した農薬の土壌残留に十分注意する。
- 5 農業生産工程管理（GAP）の取組により、食の安全・安心確保の取組を一層強化する。

体調がすぐれないとき、疲労しているときは、散布作業に従事しないようにしましょう。



【担当：佐々木（絢）】

編集後記

令和7年5月号耕耳苑をお読みいただきありがとうございます。今年度も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願いいたします。

さて、昨年に続き、今年の春も暑い日が続く見込みのようです。朝夕が涼しくて油断すると、熱中症の危険があるかもしれません。水分補給をしつつ、今年も頑張りましょう。（戸田）